

【第3号議案】

平成21年度事業計画書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

創立130周年を迎える本年度は、「工学の復権と技術者の地位確立」への貢献を中心的課題として掲げ、創立記念事業を核として活発的に成果を発信し、積極的な事業展開に転ずる年とする。今年度から新しく発足するフェロー制度をその重要な推進力として位置づける。また、新公益法人体制への移行準備を通じて、当会の使命の再確認とそれにふさわしい体制を設計する年とする。

① 各学会、協会の連絡、協力及びその総合活動（定款第4条1号）

・事務研究委員会（事務研）の開催

正会員の事務局代表者の連絡・協力の場として、事務研を8月を除く毎月1回、計11回開催し、会員学協会の運営に役立つ情報交換を行う。特に、公益法人改革に伴う新法人体制への移行が会員学協会にとって重要課題になるため、これを支援するための情報交換の場としての役割を果たす。

・日本工学会年報平成21年版第48号の発行

発行年月日 平成21年10月末日 発行部数 250部

・技術者能力開発事業の継続実施

昨年度、CPDとECE（Engineering Capacity Enhancement）の二つのWG（作業部会）において検討してきた成果をさらに発展させ、具体的な成果を会員に提供してゆく。現在、会員学協会等で実施されているCPD活動の連絡調整に関する活動として、新しくCPDを実施する学協会を支援するガイドラインを整備・提供するとともに、CPDプログラム情報の提供を支援する仕組みを実現することを検討する。企業に受け入れられるように入念に設計した技術者の能力開発プログラム（ECE）の理念の検討は、ナノテクノロジーと建設関係を具体的な課題例として取り上げ、コーディネータを決めてプログラムの設計を行い、そのイメージを明確にしてゆく活動を継続する。

・技術倫理面での貢献

技術者の地位向上の一環として、技術倫理の面での当会の役割について新しく検討をはじめ。

・功労賞表彰の継続

昨年度から再開した功労賞の表彰を継続実施する。

② わが国工学関係の学会、協会を代表して、内外の諸機関、団体及び個人との連絡（定款第4条2号）

・国際活動の推進

国際委員会（委員長 石井弓夫）の活動を継続して、WFEO（世界工学団体連盟）の日本会員である日本学術会議との密接な連携のもとに、石井委員長のWFEO副会長への立候補を支援してWFEOの運営への関与を深め、常置委員会への積極的な参加を行い、これを通じて工学・工業の発展に対する世界レベルの貢献を目指す。特に、わが国が首唱して設立された「災害リスクマネジメントタスクグループ」の運営を支援し、これを

常置委員会に昇格させることを目指す。

- ・工学・技術離れに対する産学官の連携運動

わが国の工学・技術離れ問題を解決しわが国の技術者人材の充実を目指す産学官共同の運動に学協会の取りまとめ役を果たす。

- ・他分野の学協会の連合体との連携

日本学術会議、日本医学会および日本農学会などと共同で、国際的に優れた学術団体制度のあり方を明確にする活動を行う。

- ・学術著作権協会の活動への参画

学術著作権協会の運営に理工系学協会代表の会員および役員として引続き参画する。

- ・公益法人協会との連絡

公益法人改革への対応について情報提供や指導を受ける。

③ 建議、請願、公益事業の協賛（定款第4条3号）

- ・工学および技術者の地位向上のための提言

創立130周年記念事業の成果を日本学術会議や総合科学技術会議に提出し、第4期科学技術基本計画において工学と技術者の重要性を盛り込むような働きかけを行う。

- ・公益事業の協賛

理工学系の公益性のある講演会等の事業を共催・後援・協賛する。

④ 調査、研究（定款第4条4号）

- ・創立130周年記念事業の実施

昨年度立てた計画に基づいて、次の2つの調査、研究を実施する。

1) 技術の進歩に対する展望のまとめ

技術の将来に対する明るい展望を打ち出し、世の中の技術に対する注目を喚起する。
この成果は出版物として広く配布する。

2) 技術者の地位確立と工学離れ防止へ対策調査

技術者の地位確立と工学離れ防止に役立つ方策を調査し、結果を出版物にして広く配布する。このために、外部調査会社への調査委託や役員等による海外調査を企画する。

⑤ 講演会、講習会及び座談会の開催（定款第4条5号）

創立130周年式典における講演会を含めて、第1人者の講師を招くなど質の高い企画を盛り込んだ講演会等を年5回開催する。

- ・日本工学会講演会

日時 平成21年4月23日 14時30分～15時30分

場所 建築会館ホール 参加予定者数 100名 演題数 1件

- ・技術者の能力開発に関する公開討論会

日時 平成21年6月頃 場所 未定

- ・災害リスクマネジメントに関するシンポジウム（WFEOおよび土木学会と共催）

日時 平成21年9月 場所 福岡

- ・創立130周年記念講演会

日時 平成21年11月13日 場所 東京

- ・日本工学会シンポジウム

日時 平成22年1月頃 場所 未定

⑥ その他目的を達成するために必要な事業（定款第4条6号）

・公益法人改革への対応

昨年度の事業企画委員会の答申に基づいて、定款改定をはじめとする一般法人への移行の準備を行う。

・創立130周年記念式典

昨年度立てた企画に基づいて11月13日の記念式典の実施を進める。この式典において第1回のフェローの認定を行い、事業企画委員会の答申の実現に向けての活動を開始する。

・ウェブサイトの充実

一般社会に対する貢献の手段として情報発信を活発化するため、CPD協議会をはじめとするウェブサイトの充実を継続する。

以上